（様式１）

１　自己評価及び外部評価結果

作成日　　令和　　8　年　5月　26　日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700079		
法人名	株式会社　エポカケアサービス		
事業所名	グループホーム大野みどりの家		
所在地	広島県廿日市市下の浜5-5 （電話）0829-30-6489		
自己評価作成日	令和8年4月30日	評価結果市町受理日	令和8年6月22日

※　事業所の基本情報は，介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先ＵＲＬ	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700079-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和8年5月12日

【事業所が特に力を入れている点，アピールしたい点（事業所記入）】

「ゆっくり　いっしょに　たのしく」をモットーに入居者様が心地よく過ごされている。また、家庭的な雰囲気の中で認知症の対応に気を配りながら行事、お散歩等で季節を感じて頂いている。ホーム内での行事でその季節ごとの行事を行い、その時々で季節を感じて頂いている。またホームの駐車場でバーベキューやさんまを焼く等、気候の良い時期に屋外での外気に触れて頂き、匂いや雰囲気を感じて頂いている。地域の行事にもお声がけ頂いて参加させて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念をもとに、家庭的な環境の中、利用者が活き活きと活躍できる生活、本人の気持ちや思いに寄り添った支援を意識し取り組んでいる。各ユニットに看護師が1名ずつ配属されており、医師との医療連携、病気や緊急の対応もスムーズに行えること、看取りへの対応の向上や医療ニーズの高い方の受け入れも可能とするなど、安心して医療と繋がることができる体制が構築されている。食事においても調理専属職員を配置し手作りにて、旬の食材の活用やリクエストを反映したものが提供され、様々な行事での食事や握りずしを目の前で披露するなどイベントの企画、また外食で道の駅に食事に行くなど利用者の楽しみとなる取り組みが数多く展開されている。

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員は，その理念を共有して実践につなげている。	「ゆっくり　いっしょに　たのしく」をモットーに入居者様が心地よく過ごされている。また、家庭的な雰囲気の中で認知症の対応に気を配りながら行事、お散歩等で季節を感じて頂いている。	理念は事務所に掲示し、職員新任研修にて確認するなど意識付けを行っている。年度事業所運営方針を全体会議で職員の意見をまとめ、利用者が主役になれることを意識し話し合い作成している。職員面談では運営方針を個々に振り返る機会とし、職員全員が同じ方向に向いて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域との交流も少しずつ関わり始めている。運営推進会議からとんど焼き・秋祭りのご案内を頂き参加をさせて頂いている。	運営推進会議にて自治会長や民生委員から地域の行事の情報や紹介を得ており、とんどや秋祭り、100歳体操など多数の行事やイベントに参加している。仕入れ先の八百屋が地区の役員であり、神輿を担いでほしいとの依頼に協力するなど地域や住民との関係が構築されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は，実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を，地域の人々に向けて活かしている。	ご家族の相談事は随時行い、地域の方には運営推進会議等で地域のお困りごとの相談に乗っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では，利用者やサービスの実際，評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い，そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、行政・民生委員の方々に参加頂いている。問題点・活動状況を資料にまとめ報告し参加者から助言やご意見を頂きより良いサービスができる様にしている。地域の問題や情報も頂いている。	地区の区長や組長、民生委員をはじめ地域包括支援センターや家族代表の参加があり、様々な意見交換がなされている。行事や活動の地域情報の共有と共に、困り事なども検討し地域や関係者との協力関係を深める場となっている。管理者は他法人の運営推進会議にも参加し交流している。	家族が運営や活動に関する情報にふれる機会がなく、運営推進会議への理解も低い状況が伺われる。運営推進会議議事録を全家族へ送付するなど、家族が運営情報を周知、共有できる仕組みづくりを構築するなど事業所からきっかけを発信していき、事業所の取り組みに理解が深まることへ繋がることを期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り，事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取組んでいる。	担当者から、最新の情報を頂いたり困難な事例等について相談できる関係にある。	市へ運営推進会議の案内を直接持参したり、困難な事例など随時の相談や介護保険上での解釈の確認など行うことや、地域包括支援センターから入居相談があるなど日々の関りから関係性を構築している。高齢介護課が発起となり地域圏域事業所が集まる機会が設けられ参加している。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	**〇身体拘束をしないケアの実践** 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	フロアと玄関を出入りするドアをパスキーにしており、職員以外は出入りできない。しかし、職員の付き添いによって１F，２F，３Fを自由に行き来できるように心がけている。身体拘束については一定の書式もあり、身体拘束防止委員会も設置し、身体拘束ゼロへの努力・工夫をしている。	3か月毎に身体拘束適正化委員会と虐待防止委員会を併せて開催している。年2回研修を実施し身体拘束の事案や弊害について理解を深め、日々の支援において気づきや分からないことは都度確認し統一した対応で身体拘束防止を実践している。言葉掛けも適切な表現であるか意識し支援している。	
7		**〇虐待の防止の徹底** 管理者や職員は，高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち，利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い，防止に努めている。	毎年、虐待防止のホーム内研修を行っている。また虐待防止委員会を設置し、虐待防止に取り組んでいる。		
8		**〇権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は，日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち，個々の必要性を関係者と話し合い，それらを活用できるよう支援している。	成年後見人を立てて入居されている方もおられる。		
9		**〇契約に関する説明と納得** 契約の締結，解約又は改定等の際は，利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね，十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族あるいはご本人と契約書を読み合わせてその都度疑問点、不安を尋ね説明・納得を図っている。		
10	6	**〇運営に関する利用者、家族等意見の反映** 利用者や家族等が意見，要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け，それらを運営に反映させている。	契約書には、苦情申し立て方法を明記し、玄関には意見箱を設置している。また遠方にいるご家族にはメールにてご意見をお聞きしている。	面会や連絡時に家族の意向を確認している。足取りが悪くなっている心配に、自費にて訪問リハビリが行えることを提案し取り組んだ例がある。利用者へは日々の生活の中で確認し、家に帰りたい意向に家族の協力を得て帰宅したり、花を観に行き帰りにうどんを食べて帰ることなど反映している。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は，運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け，反映させている。	フロアミーティング、１F，２F，３F共同の全体ミーティングを月に１回行い、職員の意見や提案を聞き情報やケアの統一を図っている。本社職員も出席し、意見の吸い上げも図っている。	各階フロアミーテングや全ユニット参加の全体ミーテングにて職員意見や要望を検討する他、個人面談や日々の業務の中で思いや意向を確認している。本社職員も参加し意見の把握が行われている。夜間玄関前が暗いことにセンサーライトを設置したり、エアーマット購入などの例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は，管理者や職員個々の努力や実績，勤務状況を把握し，給与水準，労働時間，やりがいなど，各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の考課、面接を行い顧問による職員面談も随時行っている。要望はその都度聞き対応している。また、法人として顧問面談を取り入れておりメンタルヘルスの面でも毎年面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は，管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し，法人内外の研修を受ける機会の確保や，働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月に一回のホーム内研修、新人研修、ケア向上勉強会、講演会等に参加することによりレベルアップを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は，管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり，ネットワークづくりや勉強会，相互訪問等の活動を通じて，サービスの質を向上させていく取組みをしている。	廿日市のグループホームの会合や職員の相互研修、情報交換を行っている。		
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，本人が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人の思いを汲み取りながら、十分話し合っている。相談し安心、信頼できる関係作りに務めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，家族等が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，関係づくりに努めている。	入居見学の時点でご家族の意向・希望の把握、不安な事等に対して話し合うようにしている。入居後も面会時など話し合える時間を持ちコミュニケーションのとれる関係作りを目指している。各フロアに携帯が有りいつでも話し合えることができるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で，本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め，他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きしている。その際に生活歴や趣味などをお聞きしアセスメントをしミーティングで報告、話し合いをする。そこで関わり方、必要としている支援を出し合っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は，本人を介護される一方の立場に置かず，暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを一緒にし、満足感、安心感、充実感、存在感を持って頂きながら信頼関係を得ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は，家族を支援される一方の立場に置かず，本人と家族の絆を大切にしながら，共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、毎月のご様子のお手紙、電話、面会時等で細かいことも含めて報告して、ともに本人を支える関係作りをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう，支援に努めている。	携帯電話を持参され自由にご家族に電話をされている方もいる。また、面会を実施し、ご家族やご友人と交流されている。	独自様式の「今までの生活について」シートを活用し、これまでどのように生活をされてきたかなど背景を紐解き把握している。小学校からの旧友との交流継続や、ドライブにて自宅や昔から通っていた店への買い物、昔よく眺めていた海に行くなど様々に思い出を大事に今に繋げている。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し，一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い，支え合えるような支援に努めている。	季節行事や定期的なイベント行事で各自が活躍できる場を提供している。共に支えあいながら、共に楽しみ、共に暮らす仲間として認め合っている。職員も一緒に楽しみながら、それを支えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても，これまでの関係性を大切にしながら，必要に応じて本人・家族の経過をフォローし，相談や支援に努めている。	いつでも電話等で相談して頂くことができる支援をしている。また、ご家族と出会った際は、声を掛け挨拶をしている。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望，意向の把握に努めている。困難な場合は，本人本位に検討している。	本人様の思いを汲み取りながら、ミーティングで共有するようにしている。ご家族には面会、電話等でお話をお聞きしている。	利用開始時の聞き取りや日々の関わりから思いや意向を確認し、記録をタブレットやフロアミーティングで共有している。利用者それぞれの誕生日にケーキを作り喜ばれるなど、嬉しい気持ちや感情、反応などをたくさん増やしていけるよう意識し思いや意向の実現に向け取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方，生活環境，これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人との聞き取りやアセスメントから把握するようにしている。情報提供があった場合もミーティング、連絡ノートにて伝達している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方，心身状態，有する力等の現状の把握に努めている。	ケアアプリ、連絡ノート等を活用し心身状態や生活ペースを把握し、共有するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について，本人，家族，必要な関係者と話し合い，それぞれの意見やアイデアを反映し，現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを活用しながら職員がアイディアを出しケアの共有を図っている。担当者会議ではミーティングの議題を挙げ職員全体で話し合いを行っている。また毎年モニタリングを行い現状に即したケアプランとなるよう配慮している。	計画作成者が職員意見を集約し、フロアミーティングや申し送りで把握した変化や内容を検討し、職員全体で話し合い作成している。本人の思いや強みが活かせるよう意識し計画に反映させている。一年毎にモニタリングにて振り返り、評価をもとに現状に即した介護計画作成に繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果，気づきや工夫を個別記録に記入し，職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個別に記録をつけ、フロアで共有している。気付きやケアの工夫は連絡ノートに記入し申し送っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況，その時々に生まれるニーズに対応して，既存のサービスに捉われない，柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	グループホーム３ユニットでイベントを行っている。またホーム行事やボランティアが来られた日に行き来する等、日頃から交流を盛んに行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し，本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議で地域の民生委員の方々の提案や助言を頂き交流をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は，本人及び家族等の希望を大切にし，納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら，適切な医療を受けられるように支援している。	月に２回、定期の訪問診療と状態変化時の主治医への連絡を随時行っており、緊急時も迅速な対応ができている。ご家族の希望で専門医へ受診している。その際はご家族、又は職員が付き添って受診する。	月2回訪問診療があり、24時間の連絡体制にてしっかり医療をみてもらえる安心感があり全員が協力医をかかりつけ医にしている。各ユニットに看護師を1名ずつ配置しており、協力医と連携しサポートできる体制を構築している。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は，日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを，職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し，個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員とかかりつけ医に状況をその都度報告し、適切な受診や看護を受けられるよう支援を行えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際，安心して治療できるように，また，できるだけ早期に退院できるように，病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は，そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に病院の医療ソーシャルワーカーと連携を取り密に連絡を取っている。職員も訪問し状況の把握、相談、情報交換をしている。ご家族とも相談し情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について，早い段階から本人・家族等と話し合いを行い，事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し，地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	かかりつけ医と十分な連携を取りながら対応している。またご家族、ご本人との考え、方針を汲み取りながらその都度話し合いをし思いを確認している。	看取りを行う方針にて昨年度は3件の看取りを支援している。利用開始時に指針を説明し事前の意向確認を行っている。状態変化時に医師より説明を行い意向を尊重し同意を得ている。口から食べてもらいたい家族の意向に言語聴覚士が介入しリハビリを実施しながら行った例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて，全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い，実践力を身に付けている。	急変時の職員の連携はよく取れているが、新入職員も増えたため繰り返し研修する必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震，水害等の災害時に，昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに，地域との協力体制を築いている。	年２回の避難訓練を行っている。また、防災委員会を設置しており、地域の消防団との連携を取り協力体制を築いている。	年2回避難訓練を実施し、内1回は消防署の立会いのもとで避難体制の助言など得ることや、夜間想定にて訓練を行っている。事業所はハザードマップ上津波が想定される地域でもあり、今後想定される地震災害に対しBCP（業務継続計画）を策定し有事への備えを整備している。	地域との協力体制が十分でない状況がある。地域との防災訓練の実施など具体的な協力体制、役割分担など相互の確認を深めていけるよう働きかけ、有事の状況での協力をより強固なものにできるよう期待する。

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し，誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修にて職員に徹底できるようにしている。ご本人の尊厳を傷つけない声掛けをしている。入居者様の情報を他の入居者様の前で話さないようにしている。	虐待防止研修にて尊厳やプライバシー保護について学び理解を深めている。職員面談シートに尊厳を意識する項目があり、職員各自で自身の取り組みを振り返っている。入浴やトイレ介助では扉を閉めるなど基本を徹底し、同性介助など利用者の希望や思いを大事に寄り添い支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり，自己決定できるように働きかけている。	思い出の場所や自宅に行ってみたり、誕生日プレゼントの希望をお聞きしたり、自己決定できる場を日頃から心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく，一人ひとりのペースを大切にし，その日をどのように過ごしたいか，希望にそって支援している。	業務優先ではなく、ご本人が何をしたいかを大切にしている。また１日どのように過ごしたいのかをお聞きするようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	２ヶ月１回の訪問理美容師による、カット・パーマ・毛染め等希望を聞いて行っている。コーディネートや季節感の服装を支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう，一人ひとりの好みや力を活かしながら，利用者と職員が一緒に準備や食事，片付けをしている。	朝食、昼食は職員が献立を考え、出来る入居者様は野菜の皮むき、カット、配膳、盛り付け、味見等を手伝って頂いている。夕食は外注したものを提供している。食事はできる限り職員、入居者様と一緒に談笑しながら食べている。	調理専属職員を配置し手作りにて提供している。筍など旬の食材を活用しており季節感が感じられ、調理の際は利用者にあく取りの手伝いなど一緒に行い参加や役割づくりの機会となっている。行事で刺身の提供や秋刀魚を焼いたり、クリスマス会には握りずしを面前で披露している。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取量を毎日の記録表に記入している。嚥下状態の悪い方はトロミをつけたり、刻み食、ミキサー食、エンシュア等を提供し、必要な栄養確保に気を付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	朝・昼・夕食後、本人用の歯ブラシで口腔ケアをし、ご自分で出来ない方は援助する。就寝時は義歯ケースの中に義歯を入れ洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自尊心を傷つけない様、声掛けをしトイレを促している。排泄チェック表等を活用し排泄パターンを把握し誘導している。	周りに聞かれないよう小声での声掛けやトイレに行きたい素ぶりなどサインを見逃さないようにしている。廊下掲示板に排泄チェック状況を記載し職員間の把握効率を上げるなど一人ひとりの状態を把握し対応することでオムツから紙パンツに移行した例など、尊厳を大切に排泄支援を実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	身体を動かしたり水分補給に心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の入浴を目途に、個々に応じた支援を行っている。また、入浴拒否の強い方等には誘導への声掛けを職員を変えながら行って入浴して頂いている。	週2回の入浴を基本とし、個々に応じた入浴支援を行っている。浴槽は左右どちらにも移動することができる仕様となっており、手すりの取りつけも多くあることや浴槽台の活用など、利用者の状態に合わせて安全に動作が行え浴槽に入ることができ入浴を楽しむことができるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて，休息したり，安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々のペースで生活習慣や状況に応じて休んで頂いている。空調管理にも気を付けながら快適に休んで頂いている。眠れない方には、お茶やホットミルクを飲んだり、お話をされたりして過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用，用法や用量について理解しており，服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	かかりつけ医、薬局と連携を取りながら細かく観察し伝達している。薬の用法、用量が変わった際は申送り、連絡ノート等にて職員同士迅速に対応している。		
48		○役割，楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように，一人ひとりの生活歴や力を活かした役割，嗜好品，楽しみごと，気分転換等の支援をしている。	ご家族、ご本人から趣味、嗜好品、楽しみ事を日々の会話の中でお聞きし体調に合わせ実現できるように努めている。他のフロアに行ったり洗濯物を干す等、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって，戸外に出かけられるよう支援に努めている。また，普段は行けないような場所でも，本人の希望を把握し，家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣の公園への散歩や、お花見等のドライブ外出等、季節を感じることが出来るように支援を行っている。	行事をはじめ、海が近くであることで歩いてアサリを見に行くことや、建物裏の公園への散策、日々の散歩も数組に分けて日にちを変えながら実施し、日常生活の中で外気や外の景観にふれ季節を感じながら過ごせるよう支援している。通院時など家族協力を得ながら外出も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は，本人がお金を持つことの大切さを理解しており，一人ひとりの希望や力に応じて，お金を所持したり使えるように支援している。	ホームでは、所持金は預からない事としている。本人様の買い物等は、一旦立て替え、まとめてご家族に請求する形をとっている。所持することで安心感のある方にはご家族了承のうえ自己管理して頂く。		

自己評価	外部評価	項　目（　　1F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり，手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は自由に使用でき、手紙も書かれている方がいる。ご自分でできない方はお手伝いをさせて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等）が，利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音，光，色，広さ，温度など）がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂くように季節の花や飾りつけをし、居心地よく過ごして頂いている。また、清潔であるよう掃除を徹底し行っている。廊下、フロア内には外出時、イベント行事時の写真を掲示している。	リビングなど掃除を徹底し清潔な環境を整えている。3階建てにてイベントや行事をはじめ日常的に各ユニットの行き来が自由であり交流が可能である。各階に家族や職員が持参した花を飾り、季節の装飾にて空間が彩られている。2～3階にはソファーを設置し寛げるよう整えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で，独りになれたり，気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな音楽番組を見られたり、ぬり絵や脳トレレクを行ったりと共用空間で出来る限り、思い思いに過ごせる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は，本人や家族と相談しながら，使い慣れたものや好みのものを活かして，本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きし、馴染みの使い慣れた物を置き居心地の良い空間作りを心がけている。また入居者様が安全に過ごせるよう整理整頓に気を付けている。	ベッド位置を居室の奥に配置することで居室内中央のスペース確保に繋げ、そこに机や椅子など馴染みのものを持参し、利用者が思い思い寛いで過ごせる環境づくりを行っている。写真を飾ったりなど個々の生活感に合わせ整えることで居心地よく過ごせる環境づくりがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして，安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ベッドセンサーの使用やセンサーマット、手摺、エレベーター等があり安全且つ快適に過ごせる様にしている。		

Ⅴ アウトカム項目（　　1F　　）← 左記（　）内へユニット名を記入願います			
56	職員は，利用者の思いや願い，暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が，一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は，一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は，職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は，戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
		○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は，その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により，安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は，家族が困っていること，不安なこと，求めていることをよく聴いており，信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は，活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員は，その理念を共有して実践につなげている。	「ゆっくり　いっしょに　たのしく」をモットーに入居者様が心地よく過ごされている。また、家庭的な雰囲気の中で認知症の対応に気を配りながら行事、お散歩等で季節を感じて頂いている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域との交流も少しずつ関わり始めている。運営推進会議からとんど焼き・秋祭りのご案内を頂き参加をさせて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は，実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を，地域の人々に向けて活かしている。	ご家族の相談事は随時行い、地域の方には運営推進会議等で地域のお困りごとの相談に乗っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では，利用者やサービスの実際，評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い，そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、行政・民生委員の方々に参加頂いている。問題点・活動状況を資料にまとめ報告し参加者から助言やご意見を頂きより良いサービスができる様にしている。地域の問題や情報も頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り，事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取組んでいる。	担当者から、最新の情報を頂いたり困難な事例等について相談できる関係にある。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	**〇身体拘束をしないケアの実践** 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	フロアと玄関を出入りするドアをパスキーにしており、職員以外は出入りできない。しかし、職員の付き添いによって１F，２F，3Fを自由に行き来できるように心がけている。身体拘束については一定の書式もあり、身体拘束防止委員会も設置し、身体拘束ゼロへの努力・工夫をする。		
7		**〇虐待の防止の徹底** 管理者や職員は，高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち，利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い，防止に努めている。	毎年、虐待防止のホーム内研修を行っている。また虐待防止委員会を設置し、虐待防止に取り組んでいる。		
8		**〇権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は，日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち，個々の必要性を関係者と話し合い，それらを活用できるよう支援している。	成年後見人を立てて入居されている方もおられる。		
9		**〇契約に関する説明と納得** 契約の締結，解約又は改定等の際は，利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね，十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族あるいはご本人と契約書を読み合わせてその都度疑問点、不安を尋ね説明・納得を図っている。		
10	6	**〇運営に関する利用者、家族等意見の反映** 利用者や家族等が意見，要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け，それらを運営に反映させている。	契約書には、苦情申し立て方法を明記し、玄関には意見箱を設置している。また遠方にいるご家族にはメールにてご意見をお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は，運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け，反映させている。	フロアミーティング、１F,2F,3F共同の全体ミーティングを月に１回行い、職員の意見や提案を聞き情報やケアの統一を図っている。本社職員も出席し、意見の吸い上げも図っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は，管理者や職員個々の努力や実績，勤務状況を把握し，給与水準，労働時間，やりがいなど，各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の考課、面接を行い顧問による職員面談も随時行っている。要望はその都度聞き対応している。また、法人として顧問面談を取り入れておりメンタルヘルスの面でも毎年面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は，管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し，法人内外の研修を受ける機会の確保や，働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月に一回のホーム内研修、新人研修、ケア向上勉強会、講演会等に参加することによりレベルアップを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は，管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり，ネットワークづくりや勉強会，相互訪問等の活動を通じて，サービスの質を向上させていく取組みをしている。	廿日市のグループホームの会合や職員の相互研修、情報交換を行っている。		
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，本人が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人の思いを汲み取りながら、十分話し合っている。相談し安心、信頼できる関係作りに務めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，家族等が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，関係づくりに努めている。	入居見学の時点でご家族の意向・希望の把握、不安な事等に対して話し合うようにしている。入居後も面会時など話し合える時間を持ちコミュニケーションのとれる関係作りを目指している。各フロアに携帯が有りいつでも話し合えることができるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で，本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め，他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きしている。その際に生活歴や趣味などをお聞きしアセスメントをしミーティングで報告、話し合いをする。そこで関わり方、必要としている支援を出し合っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は，本人を介護される一方の立場に置かず，暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを一緒にし、満足感、安心感、充実感、存在感を持って頂きながら信頼関係を得ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は，家族を支援される一方の立場に置かず，本人と家族の絆を大切にしながら，共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、毎月のご様子のお手紙、電話、面会時等で細かいことも含めて報告して、ともに本人を支える関係作りをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう，支援に努めている。	携帯電話を持参され自由にご家族に電話をされている方もいる。また、面会を実施し、ご家族やご友人と交流されている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し，一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い，支え合えるような支援に努めている。	季節行事や定期的なイベント行事で各自が活躍できる場を提供している。共に支えあいながら、共に楽しみ、共に暮らす仲間として認め合っている。職員も一緒に楽しみながら、それを支えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても，これまでの関係性を大切にしながら，必要に応じて本人・家族の経過をフォローし，相談や支援に努めている。	いつでも電話等で相談して頂くことができる支援をしている。また、ご家族と出会った際は、声を掛け挨拶をしている。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望，意向の把握に努めている。困難な場合は，本人本位に検討している。	本人様の思いを汲み取りながら、ミーティングで共有するようにしている。ご家族には面会、電話等でお話をお聞きしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方，生活環境，これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人との聞き取りやアセスメントから把握するようにしている。情報提供があった場合もミーティング、連絡ノートにて伝達している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方，心身状態，有する力等の現状の把握に努めている。	ケアアプリ、連絡ノート等を活用し心身状態や生活ペースを把握し、共有するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について，本人，家族，必要な関係者と話し合い，それぞれの意見やアイデアを反映し，現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを活用しながら職員がアイディアを出しケアの共有を図っている。担当者会議ではミーティングの議題を挙げ職員全体で話し合いを行っている。また毎日モニタリングを行い現状に即したケアプランとなるよう配慮している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果，気づきや工夫を個別記録に記入し，職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個別に記録をつけ、フロアで共有している。気付きやケアの工夫は連絡ノートに記入し申し送っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況，その時々に生まれるニーズに対応して，既存のサービスに捉われない，柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	グループホーム３ユニットでイベントを行っている。またホーム行事やボランティアが来られた日に行き来する等、日頃から交流を盛んに行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し，本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議で地域の民選委員の方々の提案や助言を頂き交流をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は，本人及び家族等の希望を大切にし，納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら，適切な医療を受けられるように支援している。	月に２回の定期往診と状態変化時の主治医への連絡を随時行っており、緊急時も迅速な対応ができている。ご家族の希望で専門医へ受診している。その際はご家族、又は職員が付き添って受診する。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は，日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを，職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し，個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員とホームDrに状況をその都度報告し、適切な受診や看護を受けられるよう支援を行えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際，安心して治療できるように，また，できるだけ早期に退院できるように，病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は，そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に病院のMSWと連携を取り密に連絡を取っている。職員も訪問し状況の把握、相談、情報交換をしている。ご家族とも相談し情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について，早い段階から本人・家族等と話し合いを行い，事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し，地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	かかりつけ医と十分な連携を取りながら対応している。またご家族、ご本人との考え、方針を汲み取りながらその都度話し合いをし思いを確認している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて，全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い，実践力を身に付けている。	急変時の職員の連携はよく取れているが、新入職員も増えたため繰り返し研修する必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震，水害等の災害時に，昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに，地域との協力体制を築いている。	年２回の避難訓練を行っている。また、防災委員会を設置しており、地域の消防団との連携を取り協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し，誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修にて職員に徹底できるようにしている。ご本人の尊厳を傷つけない声掛けをしている。入居者様の情報を他の入居者様の前ではなさないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり，自己決定できるように働きかけている。	思い出の場所や自宅は行ってみたり、誕生日プレゼントの希望をお聞きしたり、自己決定できる場を日頃から心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく，一人ひとりのペースを大切にし，その日をどのように過ごしたいか，希望にそって支援している。	業務優先ではなく、ご本人が何をしたいかを大切にしている。また１日どのように過ごしたいのかをお聞きするようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2ヶ月1回の訪問理美容師による、カット・パーマ・毛染め等希望を聞いて行っている。コーディネートや季節感の服装を支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう，一人ひとりの好みや力を活かしながら，利用者と職員が一緒に準備や食事，片付けをしている。	朝食、昼食は職員が献立を考え、出来る入居者様は野菜の皮むき、カット、配膳、盛り付け、味見等を手伝って頂いている。夕食は外注したものを提供している。食事はできる限り職員、入居者様と一緒に談笑しながら食べている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取量を毎日の記録表に記入している。嚥下状態の悪い方はトロミをつけたり、刻み食、ミキサー食、エンシュア等を提供し、必要な栄養確保に気を付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	朝・昼・夕食後、本人用の歯ブラシで口腔ケアをし、ご自分で出来ない方は援助する。就寝時は義歯ケースの中に義歯を入れ洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自尊心を傷つけない様、声掛けをしトイレを促している。排泄チェック表等を活用し排泄パターンを把握し誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	身体を動かしたり水分補給に心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の入浴を目途に、個々に応じた支援を行っている。また、入浴拒否の強い方等には誘導への声掛けを職員を変えながら行って入浴して頂いている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて，休息したり，安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々のペースで生活習慣や状況に応じて休んで頂いている。空調管理にも気を付けながら快適に休んで頂いている。眠れない方には、お茶やホットミルクを飲んだり、お話をされたりして過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用，用法や用量について理解しており，服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ホームDr、薬局と連携を取りながら細かく観察し伝達している。薬の用法、用量が変わった際は申送り、連絡ノート等にて職員同士迅速に対応している。		
48		○役割，楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように，一人ひとりの生活歴や力を活かした役割，嗜好品，楽しみごと，気分転換等の支援をしている。	ご家族、ご本人から趣味、嗜好品、楽しみ事を日々の会話の中でお聞きし体調に合わせ実現できるように努めている。他のフロアに行ったり洗濯物を干す等、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって，戸外に出かけられるよう支援に努めている。また，普段は行けないような場所でも，本人の希望を把握し，家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣の公園への散歩や、お花見等のドライブ外出等、季節を感じることが出来るように支援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は，本人がお金を持つことの大切さを理解しており，一人ひとりの希望や力に応じて，お金を所持したり使えるように支援している。	ホームでは、所持金は預からない事としている。本人様の買い物等は、一旦立て替え、まとめてご家族に請求する形をとっている。所持することで安心感のある方にはご家族了承のうえ自己管理して頂く。		

自己評価	外部評価	項　目（　　2F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり，手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は自由に使用でき、手紙も書かれている方がいる。ご自分でできない方はお手伝いをさせて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等）が，利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音，光，色，広さ，温度など）がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂くように季節の花や飾りつけをし、居心地よく過ごして頂いている。また、清潔であるよう掃除を徹底し行っている。廊下、フロア内には外出時、イベント行事時の写真を掲示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で，独りになれたり，気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな音楽番組を見られたり、ぬり絵や脳トレレクを行ったりと共用空間で出来る限り、思い思いに過ごせる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は，本人や家族と相談しながら，使い慣れたものや好みのものを活かして，本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きし、馴染みの使い慣れた物を置き居心地の良い空間作りを心がけている。また入居者様が安全に過ごせるよう整理整頓に気を付けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして，安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ベッドセンサーの使用やセンサーマット、手摺、エレベーター等があり安全且つ快適に過ごせる様にしている。		

Ⅴ アウトカム項目（　　2F　　）← 左記（　）内へユニット名を記入願います			
56	職員は，利用者の思いや願い，暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が，一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は，一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は，職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は，戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は，その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により，安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は，家族が困っていること，不安なこと，求めていることをよく聴いており，信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は，活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員は，その理念を共有して実践につなげている。	「ゆっくり　いっしょに　たのしく」をモットーに入居者様が心地よく過ごされている。また、家庭的な雰囲気の中で認知症の対応に気を配りながら行事、お散歩等で季節を感じて頂いている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	移転して2年が経ち、地域との交流も少しずつ関わり始めている。運営推進会議からとんど焼きや獅子舞のご案内を頂き参加をさせて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は，実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を，地域の人々に向けて活かしている。	ご家族の相談事は随時行い、地域の方には運営推進会議等で地域のお困りごとの相談に乗っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では，利用者やサービスの実際，評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い，そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、行政・民生委員の方々に参加頂いている。問題点・活動状況を資料にまとめ報告し参加者から助言やご意見を頂きより良いサービスができる様にしている。地域の問題や情報も頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り，事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取組んでいる。	担当者から、最新の情報を頂いたり困難な事例等について相談できる関係にある。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	フロアと玄関を出入りするドアをパスキーにしており、職員以外は出入りできない。しかし、職員の付き添いによって１F，２F，3Fを自由に行き来できるように心がけている。身体拘束については一定の書式もあり、身体拘束防止委員会も設置し、身体拘束ゼロへの努力・工夫をする。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は，高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち，利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い，防止に努めている。	毎年、虐待防止のホーム内研修を行っている。また虐待防止委員会を設置し、虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は，日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち，個々の必要性を関係者と話し合い，それらを活用できるよう支援している。	成年後見人を立てて入居されている方もおられる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結，解約又は改定等の際は，利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね，十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族あるいはご本人と契約書を読み合わせてその都度疑問点、不安を尋ね説明・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見，要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け，それらを運営に反映させている。	契約書には、苦情申し立て方法を明記し、玄関には意見箱を設置している。また遠方にいるご家族にはメールにてご意見をお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は，運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け，反映させている。	フロアミーティング、１F,2F,3F合同の全体ミーティングを月に１回行い、職員の意見や提案を聞き情報やケアの統一を図っている。本社職員も出席し、意見の吸い上げも図っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は，管理者や職員個々の努力や実績，勤務状況を把握し，給与水準，労働時間，やりがいなど，各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年一回の考課、面接を行い顧問による職員面談も随時行っている。要望はその都度聞き対応している。また、法人として顧問面談を取り入れておりメンタルヘルスの面でも毎年面談を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は，管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し，法人内外の研修を受ける機会の確保や，働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月に一回のホーム内研修、新人研修、ケア向上勉強会、講演会等に参加することによりレベルアップを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は，管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり，ネットワークづくりや勉強会，相互訪問等の活動を通じて，サービスの質を向上させていく取組みをしている。	廿日市のグループホームの会合や職員の相互研修、情報交換を行っている。		
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，本人が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人の思いを汲み取りながら、十分話し合っている。相談し安心、信頼できる関係作りに務めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で，家族等が困っていること，不安なこと，要望等に耳を傾けながら，関係づくりに努めている。	入居見学の時点でご家族の意向・希望の把握、不安な事等に対して話し合うようにしている。入居後も面会時など話し合える時間を持ちコミュニケーションのとれる関係作りを目指している。各フロアに携帯が有りいつでも話し合えることができるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で，本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め，他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きしている。その際に生活歴や趣味などをお聞きしアセスメントをしミーティングで報告、話し合いをする。そこで関わり方、必要としている支援を出し合っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は，本人を介護される一方の立場に置かず，暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることを一緒にし、満足感、安心感、充実感、存在感を持って頂きながら信頼関係を得ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は，家族を支援される一方の立場に置かず，本人と家族の絆を大切にしながら，共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には、毎月のご様子のお手紙、電話、面会時等で細かいことも含めて報告して、ともに本人を支える関係作りをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう，支援に努めている。	携帯電話を持参され自由にご家族に電話をされている方もいる。また、面会を実施し、ご家族やご友人と交流されている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し，一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い，支え合えるような支援に努めている。	季節行事や定期的なイベント行事で各自が活躍できる場を提供している。共に支えあいながら、共に楽しみ、共に暮らす仲間として認め合っている。職員も一緒に楽しみながら、それを支えている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても，これまでの関係性を大切にしながら，必要に応じて本人・家族の経過をフォローし，相談や支援に努めている。	いつでも電話等で相談して頂くことができる支援をしている。また、ご家族と出会った際は、声を掛け挨拶をしている。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望，意向の把握に努めている。困難な場合は，本人本位に検討している。	本人様の思いを汲み取りながら、ミーティングで共有するようにしている。ご家族には面会、電話等でお話をお聞きしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方，生活環境，これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人との聞き取りやアセスメントから把握するようにしている。情報提供があった場合もミーティング、連絡ノートにて伝達している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方，心身状態，有する力等の現状の把握に努めている。	ケアアプリ、連絡ノート等を活用し心身状態や生活ペースを把握し、共有するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について，本人，家族，必要な関係者と話し合い，それぞれの意見やアイデアを反映し，現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを活用しながら職員がアイディアを出しケアの共有を図っている。担当者会議ではミーティングの議題を挙げ職員全体で話し合いを行っている。また毎日モニタリングを行い現状に即したケアプランとなるよう配慮している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果，気づきや工夫を個別記録に記入し，職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日個別に記録をつけ、フロアで共有している。気付きやケアの工夫は連絡ノートに記入し申し送っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況，その時々に生まれるニーズに対応して，既存のサービスに捉われない，柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	グループホーム３ユニットでイベントを行っている。またホーム行事やボランティアが来られた日に行き来する等、日頃から交流を盛んに行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し，本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議で地域の民選委員の方々の提案や助言を頂き交流をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は，本人及び家族等の希望を大切にし，納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら，適切な医療を受けられるように支援している。	月に２回の定期往診と状態変化時の主治医への連絡を随時行っており、緊急時も迅速な対応ができている。ご家族の希望で専門医へ受診している。その際はご家族、又は職員が付き添って受診する。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は，日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを，職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し，個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員とかかりつけ医に状況をその都度報告し、適切な受診や看護を受けられるよう支援を行えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際，安心して治療できるように，また，できるだけ早期に退院できるように，病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は，そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に病院のMSWと連携を取り密に連絡を取っている。職員も訪問し状況の把握、相談、情報交換をしている。ご家族とも相談し情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について，早い段階から本人・家族等と話し合いを行い，事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し，地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホームDrと十分な連携を取りながら対応している。またご家族、ご本人との考え、方針を汲み取りながらその都度話し合いをし思いを確認している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて，全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い，実践力を身に付けている。	急変時の職員の連携はよく取れているが、新入職員も増えたため繰り返し研修する必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震，水害等の災害時に，昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに，地域との協力体制を築いている。	年２回の避難訓練を行っている。また、防災委員会を設置しており、地域の消防団との連携を取り協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し，誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修にて職員に徹底できるようにしている。ご本人の尊厳を傷つけない声掛けをしている。入居者様の情報を他の入居者様の前ではなさないようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり，自己決定できるように働きかけている。	思い出の場所や自宅は行ってみたり、ご家族と生まれた場所へ行ってみる等、協力を頂きながら希望をお聞きしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく，一人ひとりのペースを大切にし，その日をどのように過ごしたいか，希望にそって支援している。	業務優先ではなく、ご本人が何をしたいかを大切にしている。また１日どのように過ごしたいのかをお聞きするようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2ヶ月1回の訪問理美容師による、カット・パーマ・毛染め等希望を聞いて行っている。コーディネートや季節感の服装を支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう，一人ひとりの好みや力を活かしながら，利用者と職員が一緒に準備や食事，片付けをしている。	朝食、昼食は職員が献立を考え、出来る入居者様は野菜の皮むき、カット、配膳、盛り付け、味見等を手伝って頂いている。夕食は外注したものを提供している。食事はできる限り職員、入居者様と一緒に談笑しながら食べている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事、水分摂取量を毎日の記録表に記入している。嚥下状態の悪い方はトロミをつけたり、刻み食、ミキサー食、エンシュア等を提供し、必要な栄養確保に気を付けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	朝・昼・夕食後、本人用の歯ブラシで口腔ケアをし、ご自分で出来ない方は援助する。就寝時は義歯ケースの中に義歯を入れ洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	自尊心を傷つけない様、声掛けをしトイレを促している。排泄チェック表等を活用し排泄パターンを把握し誘導している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	身体を動かしたり水分補給に心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回の入浴を目途に、個々に応じた支援を行っている。また、入浴拒否の強い方等には誘導への声掛けを職員を変えながら行って入浴して頂いている。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて，休息したり，安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々のペースで生活習慣や状況に応じて休んで頂いている。空調管理にも気を付けながら快適に休んで頂いている。眠れない方には、お茶やホットミルクを飲んだり、お話をされたりして過ごしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用，用法や用量について理解しており，服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ホームDr、薬局と連携を取りながら細かく観察し伝達している。薬の用法、用量が変わった際は申送り、連絡ノート等にて職員同士迅速に対応している。		
48		○役割，楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように，一人ひとりの生活歴や力を活かした役割，嗜好品，楽しみごと，気分転換等の支援をしている。	ご家族、ご本人から趣味、嗜好品、楽しみ事を日々の会話の中でお聞きし体調に合わせ実現できるように努めている。他のフロアに行ったり洗濯物を干す等、気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって，戸外に出かけられるよう支援に努めている。また，普段は行けないような場所でも，本人の希望を把握し，家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣の公園への散歩や、お花見等のドライブ外出等、季節を感じることが出来るように支援を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は，本人がお金を持つことの大切さを理解しており，一人ひとりの希望や力に応じて，お金を所持したり使えるように支援している。	ホームでは、所持金は預からない事としている。本人様の買い物等は、一旦立て替え、まとめてご家族に請求する形をとっている。所持することで安心感のある方にはご家族了承のうえ自己管理して頂く。		

自己評価	外部評価	項　目（　　3F　　）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（　）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり，手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は自由に使用でき、旧友からも手紙やFAXが届いている。職員で代読したりお手伝いをさせて頂いている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等）が，利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音，光，色，広さ，温度など）がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂くように季節の花や飾りつけをし、居心地よく過ごして頂いている。また、清潔であるよう掃除を徹底し行っている。廊下、フロア内には外出時、イベント行事時の写真を掲示している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で，独りになれたり，気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな音楽番組を見られたり、ぬり絵や脳トレレクを行ったりと共用空間で出来る限り、思い思いに過ごせる空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は，本人や家族と相談しながら，使い慣れたものや好みのものを活かして，本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人、ご家族との要望、ご意見をしっかりとお聞きし、馴染みの使い慣れた物を置き居心地の良い空間作りを心がけている。また入居者様が安全に過ごせるよう整理整頓に気を付けている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして，安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ベッドセンサーの使用やセンサーマット、手摺、エレベーター等があり安全且つ快適に過ごせる様にしている。		

Ⅴ アウトカム項目（　　3F　　）← 左記（　）内へユニット名を記入願います			
56	職員は，利用者の思いや願い，暮らし方の意向を掴んでいる。		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が，一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は，一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は，職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は，戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は，その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により，安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は，家族が困っていること，不安なこと，求めていることをよく聴いており，信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は，活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

（様式２）

２　目標達成計画

事業所名　グループホーム大野みどりの家

作成日　　令和8年6月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点，課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域との防災訓練の実施など具体的な協力体制、役割分担など相互の確認を深めて行けるよう働きかけ、有事の状況での協力をより強固なものにできるようにする	地域の防災訓練に参加し施設と地域の役割を明確化していく。消防団との連携・協力体制の構築に努める	地域の防災訓練に参加	1年
2	4	運営推進会議の周知、共有できる仕組みづくりの構築	ご家族への周知、共有	運営推進会議議事録の送付	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注１）項目番号欄には，自己評価項目の番号を記入すること。
注２）項目数が足りない場合は，行を追加すること。